

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-1	聖和短期大学の理念 【建学の精神・教育理念】 関西学院の建学の精神であるキリスト教主義に基づき、聖和短期大学は神がわたしたち一人ひとりを愛してくださっていることを知り、イエス・キリストが示された生き方にならって、他者一特に幼い者や社会的に弱くされた者たち一人ひとりに仕える働き人を養成するために建てられています。そして、この建学の精神は、All for Christ「キリストに心を向けて」や、Seiwa College for Christian Workers「キリストの働き人を育てる聖和」という言葉で表してきました。 また、ここに集う一人ひとりの全人的で調和のとれた成熟のために、3つのH-Head:真理の探求、Heart:自分を愛し人を愛する心、Hand:奉仕と実践—を大切にすることを教育理念としています。 【めざす人間像】 “Mastery for Service”を体現する世界市民 豊かな専門的知識と理解力、確かな実践力を備え、他者、特に幼い者や社会的弱者へ深い愛と共感をもって、隣人・社会・世界に奉仕する人 【めざす短期大学像】 「垣根なき学びと探究の共同体」の実現 聖和短期大学は、キリスト教主義に基づく「垣根なき学びと探究の共同体」の実現をめざし、全人的な教育と創造的な研究により、有能にして心温かい世界市民を社会に送り出すことを使命とします。	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	
A-2	聖和短期大学の学則(目的) 【聖和短期大学学則(目的)】 第1条 本短期大学は、学校教育法及び教育基本法の規定するところに従い、実際の専門知識と豊かな教養を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶することを目的とする。 2 本短期大学に設置する学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的は次のとおりとする。 保育科は、キリスト教主義に基づく豊かな人間性、保育に関する専門的知識と実践力を備え、子どもの最善の利益に貢献できる保育者を養成することを目的とする。	聖和短期大学の目的(Webサイト上) 建学の精神・教育理念 関西学院の建学の精神であるキリスト教主義に基づき、聖和短期大学は神がわたしたち一人ひとりを愛してくださっていることを知り、イエス・キリストが示された生き方にならって、他者一特に幼い者や社会的に弱くされた者たち一人ひとりに仕える働き人を養成するために建てられています。そして、この建学の精神を、All for Christ「キリストに心を向けて」や、Seiwa College for Christian Workers「キリストの働き人を育てる聖和」という言葉で表してきました。 また、ここに集う一人ひとりの全人的で調和のとれた成熟のために、3つのH-Head:真理の探求、Heart:自分を愛し人を愛する心、Hand:奉仕と実践—を大切にすることを教育理念としています。 教育目標 「キリスト教主義に基づく豊かな人間性、保育に関する専門的知識と実践力を兼ね備え、子どもの最善の利益に貢献できる保育者の育成」 聖和短期大学 公式ホームページ	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	めざす学生像 “Mastery for Service”を体現する世界市民をめざし、キリスト教主義教育をとらして、世界への視野、幅広い知識、保育に関する深い専門性と実践力、豊かな人間性と自らを律する強さと主体性を身につけ、多様性への理解を深め、子どもの最善の利益に貢献するために、他者、特に幼い者や社会的弱者への深い愛と共感をもって、隣人・社会・世界に奉仕する学生。	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	
	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP) 1. 本学は、キリスト教主義に基づき「他者-特に幼い者や社会的に弱くされた者たち一人ひとりに仕える」働き人を養成する学校としての長い歴史と伝統を受け継ぎ、次のような力を備え、隣人・社会・世界に奉仕する人を育成します。 ①保育に関する専門的知識と理解力を備えている。 ②学んだ知識や技術を保育に活用できる実践力を身につけている。 ③他者、特に幼い者や社会的弱者を理解し、その人たちのために支援する方法を備えている。 2. 本学は、本学が別に定める卒業のための授業科目及び単位数を修得した学生に「短期大学士(保育学)」の学位を授与します。また、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格等の免許・資格を卒業時に取得するためには、本学が別に定める授業科目及び単位数を修得する必要があります。	変更の有無 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	


2018年度 自己点検・評価【聖和短期大学】

A票

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日：2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-1. 「理念」、A-2. 「目的」「めざす学生像」「学位授与方針」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認			チェック欄
【確認1】	「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 聖和短期大学の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「聖和短期大学の目的(Webサイト上)」は、A-2「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「聖和短期大学の目的(Webサイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認6】	目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	教授会(議長:学長)	
	検証手続き(どこで)	学長室会の協議を経て、教授会で決裁・承認している。	
	決定・判断時期(いつ)	毎年4月	
	検証エビデンス	学長室会および教授会議事録	
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年4月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)		
検証プロセス	検証方法(どのように)	学長室会にて検討のうえ、教授会に諮り、決裁・承認を得た。	
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。	
			<input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他 ()
	判断根拠	毎年実施する自己点検・評価報告書	
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学生必携)		

<理念、目的、教育研究目標、方針等> 設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-3

教育研究目標		変更の有無
目標1	(タイトル) 保育に関する専門的な知識や技術を教授し、保育者として高い資質・能力を育む。	□有り ☑無し
	(狙い・内容) 子ども・子育て支援新制度への対応と学習効果のさらなる向上をめざして、新たなカリキュラムを編成する。また新カリキュラムにおける授業を有効に実施するため、教員の教授内容への周知・徹底を図る。	
目標2	(タイトル) 保育に関する研究成果を発信するとともに社会に還元し、保育界、地域社会との連携を強化する。	□有り ☑無し
	(狙い・内容) 保育に関する研究成果を広く社会に発信、還元し、社会のニーズに応えることをねらいとして、研究活動の充実を図る。また保育界、地域社会との連携強化をねらいとし、実習協議会、リカレント教育、職業実践力育成プログラム(BP)、就職協議会等の実施、キリスト教教育・保育研究センター(RCCEC)による公開講座、関西学院子どもセンターにおける活動、学生ボランティア活動、教職員による社会的活動等の充実に努める。	
目標3	(タイトル) 一人一人の学生の夢の実現に向けて、学生支援を強化する。	□有り ☑無し
	(狙い・内容) 学生に対して適切な指導助言を行う体制として、アドバイザー制(クラス担任制)を充実し、各アドバイザー担当教員は、学生生活全般にわたり、きめ細かく修学・生活・進路の支援を行う。 学生の各々の状況に応じ、勉学を安心して続けられるよう、学生の生活を支援するため、各種奨学金の制度を適切に運用する。 進路支援の強化のため教員と聖和キャンパスキャリアセンターとの連携でおこなう就職支援委員会の活動を行い、現在の100%に近い就職率を維持できるように進路支援を行う。	

A-3.「教育研究目標」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	☑はい □いいえ
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	☑はい □いいえ
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	☑はい □いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	教授会(議長:学長)
	検証手続き(どこで)	学長室会の協議を経て、教授会で決裁・承認している。
	決定・判断時期(いつ)	毎年4月
	検証エビデンス	学長室会および教授会議事録
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	☑1. 検証を行った(2018年4月) □2. 検証を行っていない。→(予定:年月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	学長室会にて検討して教授会に諮り、決裁・承認を得た。
	検証結果	☑検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 □検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	毎年実施する自己点検・評価報告書
周知・公表方法	☑規程、規則、内規 □履修心得 ☑学院Webサイト ☑パンフレット、リーフレット等 ☑その他(学生必携)	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ~検証状況の確認~

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-4

教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー;CP)	変更の有無
<p>今日、乳幼児期における保育と教育の重要性がますます高まり、保育が多様化するなか、豊かな人間性、専門性、実践力を兼ね備えた保育の専門家が求められています。本学は、このような社会のニーズに応え、子どもの最善の利益に貢献できる保育者の育成を目指します。</p> <p>本学は、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得のために、教育職員免許法ならびに児童福祉法施行規則に基づいた教育課程を編成し、学生が保育実践の基礎となる人間観、子ども観、教育・保育観を学ぶとともに、保育者に必要とされる知識や技術を習得することを目指しています。そして、保育現場での様々な問題を解決するための思考力・判断力・表現力等を養い、主体的に取り組む態度を育成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”を体現するための基礎的な学びとして、卒業必修科目「関西学院・聖和学」を1年次春学期に配置します。また、本学の建学の精神であるキリスト教主義に基づく豊かな人間性を備えた保育者を養成するために、卒業必修科目「キリスト教学」「キリスト教保育Ⅰ」を配置します。 2. 保育の本質・目的を理解するために、教育・保育・福祉などの基本的な理論を学ぶ科目を配置します。 3. 保育の対象理解のために、心理・保健・栄養・家庭支援に関する科目を配置します。 4. 保育の内容および方法を理解するために、保育内容・乳児保育・養護・相談支援に関する科目を配置します。 5. 保育で必要となる表現技術を身に付けるために、表現技術に関する科目を配置します。 6. 上記2345の科目については、理論と実践を総合的に、かつ基礎から専門へと系統立てて学修できるように配置しています。 7. 広く社会的な知識を習得するために、保育者として必要とされる一般教育科目を配置します。 8. 1年次春学期に幼稚園の見学や行事に参画する「基礎演習」で保育者としての基本的な姿勢について学び、2年次には、「保育学研究演習」において、保育内容・児童文化・子育てなどのテーマを定めその分野に関するより専門的な知識や技術の習得を目指します。 9. 教育・保育の実習に関しては、観察実習から責任実習へと段階的に実践力が身に付くように、実習の時期を考慮して配置します。また、実習に効果的に取り組むことができるよう、少人数制の事前事後指導を実施し、実践力の向上を目指します。 	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

A-4. 教育課程の編成・実施方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	教授会(議長:学長)
	検証手続き(どこで)	教務委員会、学長室会、教育課程基本方針策定委員会での審議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期(いつ)	毎年7月
	検証エビデンス	教務委員会、学長室会、教育課程基本方針策定委員会の議事録 「教育課程の編成・実施方針」は、2011年度第16回教授会(2012年2月8日)承認。2012年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年4月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	教育課程基本方針策定委員会、教務委員会、学長室会にて検討して教授会に諮り、決裁・承認を得た。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	<input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他 ()
判断根拠	2018年度教育課程表、カリキュラムマップなど	
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学生必携)	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-5

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
<p>本学は、保育者養成における130余年の伝統と多くの先達の情熱を受け継ぎ、専門職として乳幼児の保育に携わる者を幼稚園、保育所、児童福祉施設などに送り出してきました。そして今も多くの卒業生が全国各地および世界で活躍し、高い評価を得ています。今日、幼児教育と保育の重要性がますます高まり、保育が多様化するなか、豊かな人間性、専門性、実践力を兼ね備えた保育の専門家が求められています。本学は、キリスト教主義に基づく豊かな人間性を持ち、このような社会のニーズに応えることのできる保育者の育成をめざして教育・研究活動を行っています。</p> <p><求める学生像> 本学は、次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関西学院のスクールモットー、聖和短期大学の教育理念に共感する人 2. 幼児教育・保育を真剣に学ぼうとする人 3. 子どもを愛し、子どものために豊かな人間性を養おうと努力をする人 <p><入学者選抜の基本方針> 本学の教育理念・目標に合致し、保育者としての適正な人格と能力を兼ね備えた学生を選抜するために、さまざまな評価の観点から多様な入学者選抜を実施し、志願者の能力や資質を総合的に評価し、判定します。</p> <p>[AO入試] アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)を理解し、本学で学びたいという強い意志を持つ受験生を対象にします。高校生の時に経験した様々な校内外での活動を通して身につけた豊かな人間性、将来性、可能性などの資質ならびに表現力を評価します。</p> <p>【試験内容】 一次選考ではエントリーシート、志望動機書、自己推薦できる活動実績の報告書などを中心に総合的に評価します。二次選考では小論文、個人面接、調査書の内容などを中心に総合的に評価して合格判定をします。</p> <p>[推薦入試] 推薦入試には指定校推薦入試と公募推薦入試前期A、公募推薦入試前期B及び公募推薦入試後期があり、保育者として必要な能力や資質を備えているかを測るために面接を行います。指定校推薦入試は、本学より推薦を依頼する高等学校および中等教育学校から推薦を受けた学生が受験することができます。公募推薦入試前期A・Bは、保育者として必要な文章の読解力や漢字の習熟度を測るために国語(国語総合、但し古典を除く)の試験を実施します。また、公募推薦入試前期Aでは、音楽の素養や表現力を測るために実技(ピアノ)を実施します。公募推薦入試後期では、文章構成力や表現力を測るために小論文を実施します。</p> <p>【試験内容】 指定校推薦入試 推薦書・出願書類の内容を中心に、面接を参考にして合格判定をします。 公募推薦入試前期A 国語(国語総合、但し古典を除く)、実技(ピアノ)、面接および出願書類によって合格判定をします。 公募推薦入試前期B 国語(国語総合、但し古典を除く)、面接および出願書類によって合格判定をします。 公募推薦入試後期 小論文、面接および出願書類によって合格判定をします。</p> <p>[一般入試] 一般入試は文章の読解力や漢字の知識を図るために国語(国語総合、但し古典を除く)の試験を実施します。また、保育者としての必要な能力や資質を備えているかを面接で確認します。</p> <p>【試験内容】 国語(国語総合、但し古典を除く)および面接によって合格判定をします。</p> <p>[社会人入試] 社会人としての経験をふまえ、本学の建学の精神に賛同し、学び直しや新しい分野の学修意欲を有する人を対象に実施します。</p> <p>【試験内容】 面接と志望動機書によって合格判定をします。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	教授会(議長:学長)
	検証手続き(どこで)	入試・広報委員会、学長室会での協議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期(いつ)	毎年2月
	検証エビデンス	入試・広報委員会、学長室会、教授会議事録 「学生受け入れの方針」は、2011年度第16回教授会(2012年2月8日)承認。2012年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年3月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)
検証プロセス	検証方法(どのように)	入試・広報委員会、学長室会にて検討し、教授会に諮り、決裁・承認を行った。
	検証結果	<input type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	2019年度入試制度・学生募集内容
周知・公表方法		<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学生募集要項)

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日：2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-6

学生支援に関する方針		変更の有無
	<p>聖和短期大学ではキリスト教主義に基づき、「豊かな専門的知識と理解力、確かな実践力を備え、他者、特に幼い者や社会的に弱くされている者への深い愛と共感をもって、隣人・社会・世界に奉仕する人」を養成するために、学生一人一人が充実した学生生活を送ることができるように、学生支援の方針を掲げ、関係部署が連携し、修学・生活・進路について支援をする。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
修学支援	<p>① 学生の学習上の悩み等について適切な指導を行う体制として、「アドバイザー制度」を設け、1年生、2年生共12クラスに分け、各クラスにつき教員1名がアドバイザーを務め、修学支援する。</p> <p>② 学生同士がコミュニケーションをとりながら、学修できる環境を整える。たとえば、実習科目等では、1年生が2年生の実習経験を聴く時間を設け、学生の主体的な学習の場を整備し支援する。</p> <p>③ 基礎学力・基礎技能が不足する学生への対応として、入学前教育や実習の個別指導、ピアノの個別指導などを行う。</p> <p>④ 教授会において、学期ごとに成績報告会を開催し、各教員のアドバイザークラスの学生の単位修得状況を確認し、教員間においては学生の情報を共有し、修学支援体制を整える。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
生活支援	<p>① 学生の生活支援のための組織として学生委員会がある。学生主任を長とし、数名の教員、職員で構成し、教員、職員との連携・協力のもと支援体制を整え、適切に対応する。</p> <p>② 各学年、アドバイザー制(クラス担任制)をとり、各アドバイザー担当教員が学生生活全般にわたり、きめ細かい支援をする。</p> <p>③ 学生の健康管理、メンタルヘルスケアやカウンセリングの体制として、「保健館分室」と「総合支援センター分室学生支援相談室」に専門スタッフを配置し支援をする。</p> <p>④ 「聖和短期大学支給奨学金」「上谷潤子奨学金(給付制:第1種・第2種)」「聖和短期大学後援会奨学金(給付制)」などの奨学金制度を整備し、学生の各々の状況に応じ勉学を続けるよう学生の生活を支援する。</p> <p>⑤ キャンパスハラスメント等の支援については人権相談担当者を配置し、問題解決のための助言を行い、適切な対策を講じる体制を整える。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
進路支援	<p>① 進路支援の体制として、「就職支援委員会」を設け、聖和キャンパスキャリアセンターとの協働のもと、進路支援をする。</p> <p>② 聖和キャンパスキャリアセンターでは、保育に関する求人情報や採用試験情報等が揃えられ、学生が自由に利用できる環境を整備し、職員は履歴書の添削や面接練習等にも対応する支援体制を整える。</p> <p>③ キャリアセンターでは「就職支援プログラム」を各学年共、きめ細やかに支援する体制を整える。</p> <p>④ アドバイザーは、1年次に進路や進学についての個人面談、2年次に就職先についての相談、面接練習、履歴書の添削等を個別に行う。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ~検証状況の確認~

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (下記のことが明らかであることに留意する。) <修学支援> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <生活支援> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み </div>	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	教授会(議長:学長)
	検証手続き(どこで)	学生委員会、学長室会での協議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期(いつ)	毎年1月
	検証エビデンス	学生委員会、学長室会、教授会議事録 「学生支援に関する方針」は、2015年度第8回教授会(2015年10月14日開催)承認。2016年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input type="checkbox"/> 1. 検証を行った(年月) <input checked="" type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定:2019年3月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	
	検証結果	<input type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	<input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他 ()
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学生必携、就職の手引き)	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ~検証状況の確認~

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-7

教員像		変更の有無
関西学院は、キリスト教主義に基づく教育を「建学の精神」とし、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命としている。 聖和短期大学は、このミッションステートメントを実現するために求められる教員像を次の通り定める。 (教育者として) 保育に関する専門的な知識や技術を教授し、質の高い保育者を養成する能力を有する教員。学生の夢の実現に向けて、よりよい教育に努め、学生の成長を喜びとした情熱を持って取り組む教員。 (研究者として) 保育に関する専門性を持ち、研究に誠実かつ熱心に取り組む、広く社会に貢献し、必要とされる教員。 (組織の構成員として) 本学の教育や運営のために、自らの優れた知識・能力を生かし、互いに協力し高めあうことによって短期大学全体の充実・発展をめざすことのできる教員。 (人として) 学識、識見、人望、人徳を備え、誠実さをもった魅力ある教員。		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
無しの場合どのように設定するか?	責任主体・組織 設定方法 設定見込み時期	
教員組織の編制方針		変更の有無
幼稚園教諭、保育士の養成と社会的貢献を果たすために、文部科学省の設置基準および厚生労働省の指定基準に則った専任教員を配置する。 特に本学の教育目標に基づき教育課程編成の方針、学位授与方針等を実現するために必要な教員を配置する。		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

A-7. 教員像、教員組織の編制方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	教授会(議長:学長)
	検証手続き(どこで)	学長室会での協議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期(いつ)	毎年4月
	検証エビデンス	学長室会および教授会議事録 「教員像」は、2015年度第8回教授会(2015年10月14日)承認。2016年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年4月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	学長室会にて検討して教授会に諮り、決裁・承認を得た。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	授業評価アンケート結果、個人研究費研究計画書・経過(成果)報告書、校務分掌など <input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他 ()
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学生必携)	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2019年2月21日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

(ご参考)

<評価専門委員・第三者評価結果> 2017年12月22日公示

- 前回の外部評価などの指摘を踏まえ、検証のうえ、改善が行われていることは評価できます。
学位授与方針においては、貴学がめざす人材養成像が補記されるとともに、学位授与の方針が明記され、よりわかりやすくなりました。【A-2】
教育課程の編成・実施方針においては、貴学がめざす保育者養成の方針が明記され、それを実現するための科目配置、内容が明記され、教育課程の全容などがわかりやすくなりました。【A-4】
学生の受け入れ方針においては、求める人材像の見直しが行われたとともに、選抜の基本方針、入試形態別の試験内容・評価について新たに示されるなど、たいへんわかりやすくなりました。【A-5】
- 学修成果の評価については未着手ですので、早急に対処することが求められます。
カリキュラム・ポリシーにおいては、ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育課程編成、当該課程における学修方法・学修過程、学修成果の評価の在り方等を具体的に示すよう、『卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)』、「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン』(平成28年3月 中央教育審議会大学分科会大学教育部会)に記載がありますとあり、これを踏まえた対応が必要となります。
上記案件は、A-2【確認5】にかかる対応にも通じるものがあります。(A)

殆どの項目で、「はい」と回答し、順調に運営されているように思い、大変評価できます。

しかし、下記の1項目は「いいえ」になっています。

「A-1.「理念」、A-2.「目的」「めざす学生像」「学位授与方針」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認」の【確認5】学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。のチェック欄でいいえになっています。このことは残念です。この項目は、PDCA cycle に当てはめてみますと Check(評価)ですから、何らかの客観的方法(たとえばDSM-IVの方式など)を参考にして、早急に開発し、「適切に成果を測る」方式を確立されることが期待されます。(B)

2017年3月に教授会決定されたDP、CP、APの記述と「設定・確認シート」に記載のDP、CP、APの記述とに整合性が確保されているかどうかを確認されることが求められる。(C)

「A-1.「理念」、A-2.「目的」「めざす学生像」「学位授与方針」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認」のなかで「【確認5】学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。」が、「いいえ」となっていますので、今後、検討と実施に取り組んでください。

「A-7. 教員像、教員組織の編成方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認」については、「検証を行っていない。→(予定:2018年2月)」となっていますので、予定どおり適切に実施するよう努めてください。(F)

適切性の検証が実施されており、評価できます。(J)

<評価専門委員・所見記入欄>

- 前回の自己点検・評価まで未着手であった学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標の開発についても、着実に計画を履行され、適切に成果を測れるようになったことは評価できます。
- 貴学の理念・人材養成目的の達成に向けて、組織全体として教学マネジメントを着実に実践され、成果をあげておられることはたいへん評価できます。(A)

A-1 1-1.【聖和短期大学の理念】【建学の精神・教育理念】に書かれている、関西学院の建学の精神である「キリスト教主義」が分かりにくい。的確に理解できるように表現することは可能でしょうか。

1-2.上記主義と、聖和短期大学の理念がどのような関係で結び付いているかが学生にとって分かりやすく表現した方が良いと思います。

2-3. 評価には直接関係がないと思われませんが、文字使い・文章表現は統一した方が良いと思われれます。

2-3-1.文字の統一

「一人一人」「一人ひとり」

2-3-2.「成熟」「成長」 区別

説明文書と検証体制・検証文書の語尾を統一した方が良いと思われれます。

説明文書

「います」

検証文書

「いるか」(B)

- まだ検証が行われていない方針について、確実に検証されることを期待します。(D)
- 適切にアドミッションポリシーが見直されており評価できます。(E)
- すでに検証している方針については、適切かつ十分な検証が行われています。(F)
- 入試制度の変更に合わせてポリシーに変更が加えられ、適切に検証されています。(G)

2018年度 自己点検・評価 【聖和短期大学】

提出日:2019年2月21日

項目名	A-5 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー); AP
変更内容とその理由	<p><変更内容></p> <p>公募推薦入試の名称の変更、および一般入試日程の追加に伴い、下記の下線部のとおり変更した。</p> <p>アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針） ～ 略 ～</p> <p>[推薦入試]</p> <p>推薦入試には指定校推薦入試と<u>公募推薦入試 A</u>、<u>公募推薦入試 B</u> 及び<u>公募推薦入試 C</u> があり、保育者として必要な能力や資質を備えているかを測るために「面接」を行います。指定校推薦入試は、本学より推薦を依頼する高等学校および中等教育学校から推薦を受けた学生が受験することができます。<u>公募推薦入試 A・B</u> は、保育者として必要な文章の読解力や漢字の習熟度を測るために「国語(国語総合、但し古典を除く)」の試験を実施します。また、<u>公募推薦入試 A</u> では、音楽の素養や表現力を測るために「実技(ピアノ)」を実施します。<u>公募推薦入試 C</u> では、文章構成力や表現力を測るために「小論文」を実施します。</p> <p>【試験内容】</p> <p><u>指定校推薦入試</u> 推薦書・出願書類の内容を中心に、面接を参考にして合否判定をします。</p> <p><u>公募推薦入試 A</u> 国語(国語総合、但し古典を除く)、実技(ピアノ)、面接および出願書類によって合否判定をします。</p> <p><u>公募推薦入試 B</u> 国語(国語総合、但し古典を除く)、面接および出願書類によって合否判定をします。</p> <p><u>公募推薦入試 C</u> 小論文、面接および出願書類によって合否判定をします。</p> <p>[一般入試]</p> <p><u>一般入試には一般入試 A 及び一般入試 B があり、保育者として必要な能力や資質を備えているかを測るために「面接」を行います。一般入試 A は、保育者として必要な文章の読解力や漢字の習熟度を測るために「国語(国語総合、但し古典を除く)」の試験を実施します。また、一般入試 B では、文章構成力や表現力を測るために「小論文」を実施します。</u></p> <p>【試験内容】</p> <p><u>一般入試 A</u> 国語(国語総合、但し古典を除く)および面接によって合否判定をします。</p> <p><u>一般入試 B</u> <u>小論文、面接および出願書類によって合否判定をします。</u></p> <p>～ 略 ～</p> <p><変更理由></p> <p>公募推薦入試制度を整理し、前期・後期の別をなくし名称変更をしたため、また受験機会拡大を図り入学定員充足を目的とした一般入試Bの導入に伴い、上記のとおりアドミッションポリシーを変更した。</p>